

本部広報2019-028

2019年11月27日

タイヤチェーンで雪道の急坂を上れるか検証

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 藤井 一裕）は、降雪時期を前にタイヤチェーン別の登坂性能を検証し、その結果をホームページに公開しました。

これからの季節、急な降雪や積雪で慌てないために、スタッドレスタイヤやタイヤチェーンを備えておく必要があります。

タイヤチェーンには金属や非金属、さらにその中でも様々な種類がありますので、それらのタイヤチェーンは急坂を登りきることができるのかその種類別に検証しました。



タイヤチェーンの種類



雪道走行（イメージ）

■ 登坂テスト

前輪駆動のコンパクトカーを使用し、前輪にタイヤチェーンを装着し坂道を上りきれるのかを検証しました。

<条件>

- ① ノーマルタイヤおよびタイヤチェーンは新品を用意した。
- ② タイヤチェーンは3種類を検証。
金属チェーン（亀甲型）、金属チェーン（はしご型）、非金属チェーン（ウレタン系）
- ③ 勾配15%（約8.5度）と勾配20%（約11.3度）の坂道（全長約50m）
- ④ テストはそれぞれ3回実施した。

結果：勾配20%の坂道では金属チェーン（亀甲型）のみ上りきることができたが安心感はない。

- ・勾配15%の坂道では、すべてのタイプで上りきれた。
- ・勾配20%の坂道では、金属チェーン（亀甲型）のみ上りきることができた。

①金属チェーン (亀甲型)			②金属チェーン (はしご型)			③非金属チェーン (ウレタン系)		
●勾配15%			●勾配15%			●勾配15%		
1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
○	○	○	○	○	○	○	○	○
●勾配20%			●勾配20%			●勾配20%		
1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
○	○	○	約20m で止まった	約15m で止まった	約30m で止まった	約15m で止まった	約10m で止まった	約15m で止まった

登坂テスト (勾配15%と20%) の結果

※結果は一例であり、雪質や車の駆動方式、タイヤの種類などで結果が変わります。

勾配20%の坂道になると、金属チェーン（はしご型）と非金属チェーンは坂道の途中でスリップし最後まで上りることができませんでした。金属チェーン（亀甲型）もタイヤが空転することもありましたが、上りることができました。

タイヤチェーンを装着していたとしても雪道では十分に速度を落として走行し、慎重に走行するようにしましょう。

■テスト結果：JAFユーザーテスト

[動画編] <http://movie.jaf.or.jp/details/238.html>

[資料編] <https://jaf.or.jp/common/safety-drive/car-learning/user-test/snow/tire-chain-climbing>

このリリースへの問い合わせは以下までお願いします。

一般社団法人 日本自動車連盟 広報部 担当：秋本

Tel : 03(3578)4920 Fax : 03(3578)4912

E-Mail:koho@jaf.or.jp URL: <http://www.jaf.or.jp/>

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館